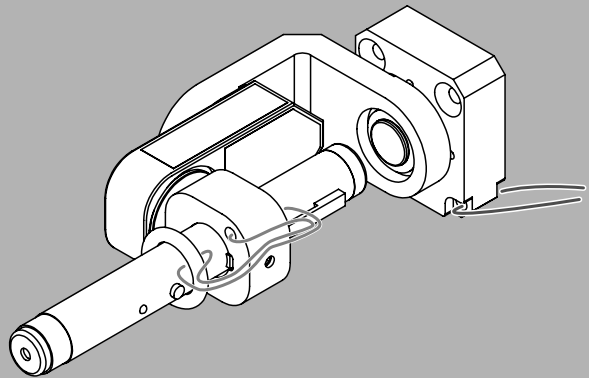


取扱説明書

視野確認器 ZDVJ001A



このたびは、当社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

注意 ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
⚠️ 正しくお使いいただくために、内容をよく理解したうえでご使用ください。

●この取扱説明書はいつでも使用できるところに保管してください。

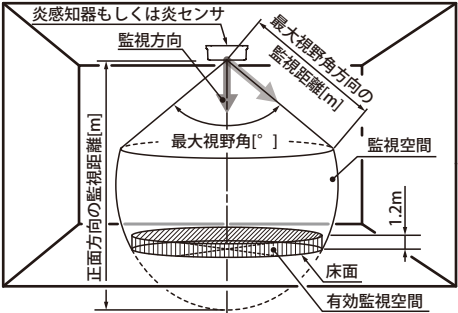
能美防災株式会社

1. 商品の概要

この商品は、炎感知器および炎センサの視野方向および視野角の確認、または光電式分離型感知器の光軸粗調整を行うための機器です。

●本製品の説明

■炎感知器および炎センサの監視方向および最大視野角方向の確認
炎感知器もしくは炎センサは以下に示す監視空間を持っています。
本製品を使用すると、炎感知器および炎センサの監視方向および最大視野角方向を確認することができます。
(監視方向の調整は、自在取付台等により行います。)



■光電式分離型感知器の光軸粗調整
光電式分離型感知器の光軸調整の際には、受光部の光軸を視準孔により粗調整する必要があります。
本製品を使用すると、視準孔による光軸粗調整が難しい場合でも、受光部の光軸粗調整を行うことができます。

能美防災株式会社

本社	〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3 TEL.(03)3265-0211 (代)				
支社	北海道(011)746-6911	東北(022)221-2695	新潟(025)243-8121	丸の内(03)3213-1781	
	茨城(029)239-5280	千葉(043)266-0303	北関東(048)669-2255	西関東(062)643-1520	
	横浜(045)682-4700	静岡(054)340-0013	中部(052)589-3241	長野(026)227-5501	
	北陸(076)252-6211	関西(06)6330-8661	京都(075)694-1192	中国(082)510-1125	
	岡山(086)244-4222	九州(092)712-1560			
営業所	旭川(0166)25-5600	青森(017)729-0532	盛岡(019)645-0552	秋田(018)862-5086	
	郡山(024)947-1194	福島(024)528-4195	羽田(03)5757-9393	渋谷(03)3461-1051	
	新宿(03)5990-5770	城東(03)3626-2461	羽田(029)822-3851	宇都宮(028)637-4317	
	群馬(027)328-1567	埼玉(049)247-4640	沼津(055)955-5227	浜松(053)473-3422	
	三重(059)226-9860	岐阜(058)201-3771	富士(076)444-1450	福井(0776)21-0056	
	神戸(078)334-3581	四国(087)868-6811	北九州(093)583-3344	長崎(095)845-0135	
	熊本(096)360-1051	大分(097)543-2778	宮崎(0985)28-8792	鹿児島(099)253-8196	
	沖縄(098)862-4297				
工場	三鷹(0422)44-5141	メヌマ(048)588-1531			

2. 本書の表記

警告表示は、警告文と警告レベルを示す記号の組合せで表示されます。

■警告文

危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをした場合に生じるおそれがある内容を、「危険」、「警告」、「注意」の3つに区分しています。

危険	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うか、機能に致命的な悪影響を及ぼすことが想定されることを示しています。
警告	取り扱いを誤った場合、使用者が重傷や傷害を負うか、機能の一部に重大な悪影響を及ぼすおそれがあることを示しています。
注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか、機能に悪影響を及ぼすおそれがあることを示しています。また、機能を長期にわたって有効に活用する上で、ぜひ守ってほしい事項を示しています。

■記号

- ⚠️ 警告・注意を促す内容があることを示しています。
- 🚫 禁止内容を示しています。
- ❗ 行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

3. 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
ご使用になる前に、「安全上のご注意」をよくお読みください。

危険 ⚠️ キャップ・アダプタプレート・アダプタは、確実に取り付け、外れないことを確認してください。
⚠️ 本製品の使用中に外れると、機器が破損したり、落下により、けがをするおそれがあります。

危険 ⚠️ 落下防止用ワイヤーを構造物等に取り付けて使用してください。
❗ 本製品の落下により、けがをするおそれがあります。

警告 ⚠️ ・レーザー光をのぞき込まないでください。
・レーザー光を人に向けてください。
・幼児に使用させないでください。
・幼児の手の届かないところに保管してください。
目にレーザーが照射された場合、失明や視力低下のおそれがあります。

警告 ⚠️ 点灯スイッチを『ON』にした状態で、電池を交換しないでください。
⚠️ 感電のおそれがあります。

警告 ⚠️ 機器が水・薬品・油などの液体でぬれた場合や、異物が入った場合は、使用を中止してください。
⚠️ 感電・故障・発熱・発火のおそれがあります。

警告 ⚠️ 設置済みの感知器および炎センサに本製品を取り付けて使用します。
⚠️ 高天井に設置されている場合は、試験を安全に行うために、必ず足場を確保してください。

警告 ⚠️ 機器を分解・改造しないでください。感電・故障・発火の原因となります。

注意 ⚠️ 落下や振動などの衝撃を与えないでください。
⚠️ 故障の原因となります。

注意 ⚠️ 点灯スイッチを強い力で押さないでください。
⚠️ 故障・破損するおそれがあります。

注意 ⚠️ 乾電池は⊕⊖の極性を間違えないで挿入してください。
⚠️ 極性を誤ると故障するおそれがあります。

注意 ⚠️ 消耗した乾電池は、早めに交換してください。
⚠️ 乾電池の漏液や機器の故障の原因になります。

注意 ⚠️ 種類の違う乾電池や新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
⚠️ 乾電池を漏液・発熱・破裂させたり、機器を破損させるおそれがあります。

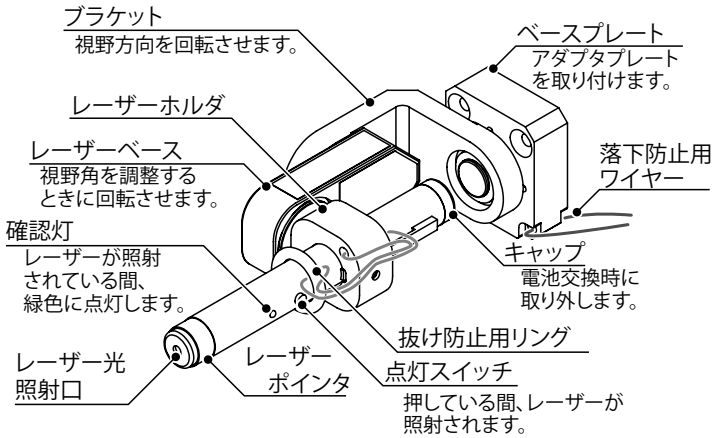
4. 商品の確認

アルミケースの中には以下のものが入っています。
購入時には、過不足がないか確認してください。

- ◆視野確認器 本体……………1個
- ◆取扱説明書(本書)……………1枚
- ◆アダプタプレート……………1個
- ◆アダプタA……………1個
- ◆アダプタB……………1個
- ◆アダプタC……………1個
- ◆ネジセット(M4皿ネジ×2本、インチネジ×1本)……………1セット
- ◆カギ(2本入り)……………1セット

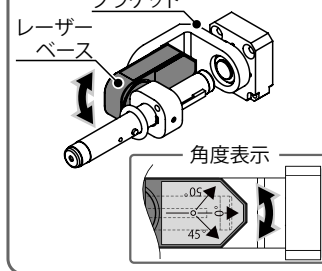
※各付属品については、裏面を参照してください。

5. 本体の名称とはたらき



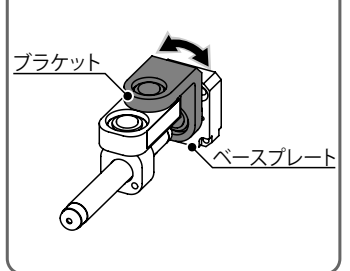
■照射角度の調整

『ブラケット』を保持した状態で、『レーザーベース』を回転させます。



■光軸方向の回転

『ベースプレート』を保持した状態で、『ブラケット』を回転させます。

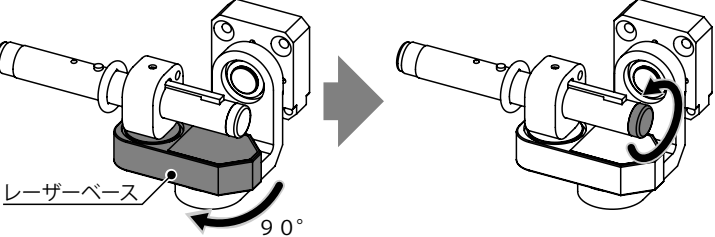


注意 ⚠️ レーザーホルダおよびレーザーポインタをもって回転しないでください。
⚠️ 光軸がずれて、正確な方向に照射できません。

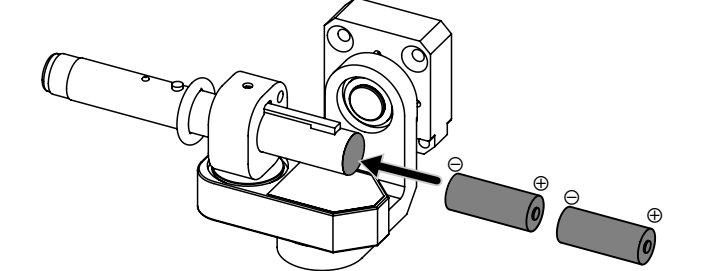
警告 ⚠️ 抜け防止用リングで点灯スイッチを押さないでください。
⚠️ クラス2レーザーは法律で放出状態維持機能を有してはならないとされています。

6. 電池の入れ方

① レーザーベースを90°に回転し、レーザーポインタのキャップを左に回して外します。



② ⊕⊖の極性を確認して『単5形アルカリ乾電池』を2本、レーザーポインタに挿入してください。



●アルカリ乾電池の使用をおすすめします。
(連続使用時間は、アルカリ乾電池で約2時間となります。)

③ レーザーポインタのキャップを取り付けます。

■電池の廃棄

使用済み乾電池は、電極にテープを貼り絶縁したうえ、自治体(市区町村)により定められたルールに従って廃棄してください。

注意 ⚠️ 乾電池は⊕⊖の極性を間違えないで挿入してください。
⚠️ 極性を誤ると故障するおそれがあります。

注意 ⚠️ 種類の違う乾電池や新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
⚠️ 乾電池を漏液・発熱・破裂させたり、機器を破損させるおそれがあります。

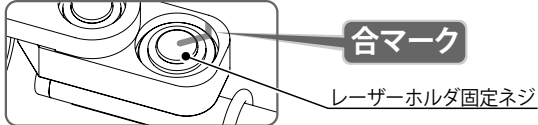
7. 仕様

製品名	視野確認器
型名	ZDVJ001A
適用機種	赤外線式スポット型感知器(試験機能付): FDCJ004-D型 赤外線式スポット型感知器(試験機能付): FDCJ003-D-X型 赤外線式スポット型感知器: FDCJ002-D-X型 赤外線3波長式炎センサ: PDCJ001シリーズ 3波長式炎センサ: PDCJ003-D型 赤外線3波長式炎センサ(防爆): PDCJ002-E型 赤外線3波長式炎センサ(防爆): PDCJ004-E型 光電式分離型感知器: FDGJシリーズ
光源	可視光緑色半導体レーザー
レーザー出力	1mW未満(JIS規格クラス2以下)
ビーム径	10m先で直径約10mm
確認灯	レーザー照射時: 点灯(緑)
電池寿命	連続使用で約2時間(アルカリ乾電池使用時)
使用温湿度範囲	5~35℃/0~85%(Rh)未満 (ただし、結露なきこと)
乾電池(別売)	単5形アルカリ乾電池(LR1)×2本
照射角度	45°⇔0°⇔50°、フリーストップ式 (光軸方向は360°回転、90°毎に保持)
質量	約400g(乾電池含まず)

※距離と部屋の明るさにより、レーザーの目視が行い難い場合があります。

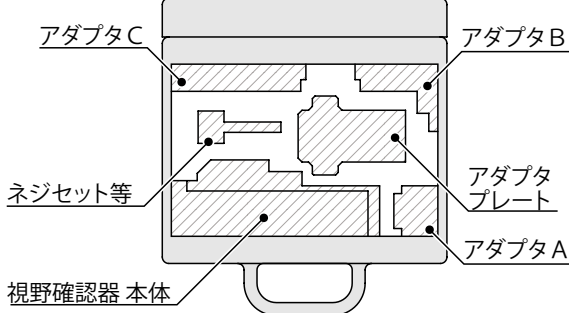
8. レーザーポインタの光軸について

●本製品は出荷時に光軸調整を行っています。
レーザーホルダを固定しているネジの合マークがずれていないことを確認してからご使用ください。



9. お手入れ・保管について

●使用後は、視野確認器本体、アダプタプレートおよび各アダプタを、アルミケースの所定の位置に戻して、保管してください。



●湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温場所には保管しないでください。

注意 ⚠️ 使用後は本体から乾電池を抜いて保管してください。

10. 故障かな?と思ったら

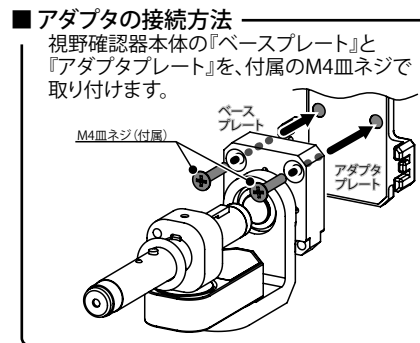
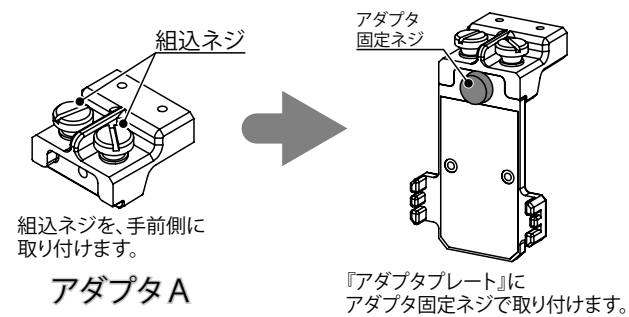
●故障かな?と思う症状とその原因・対処方法です。

症 状	原 因	対 処 方 法
点灯スイッチを押してもレーザーが発光しない。	電池電圧が低下している。 電池の『+』『-』の向きが間違っている。	電池を交換してください。 電池の『+』『-』の向きを確認して、正しく入れ直してください。
	キャップが緩んでいる。	キャップをしめ直してください。

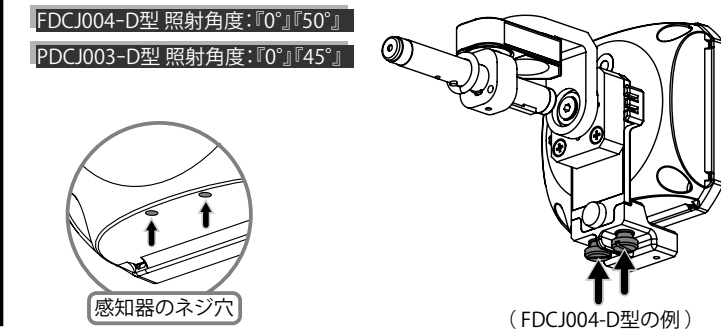
●上記の対処方法で症状が解消されないときや、上記以外の症状の場合は、当社または購入先へご相談ください。

1 1. 取付方法

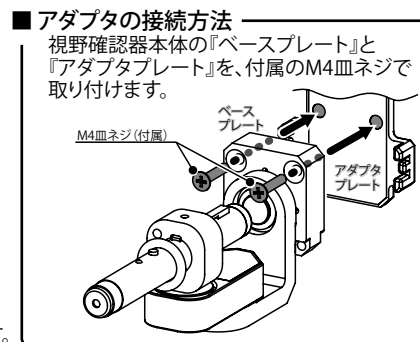
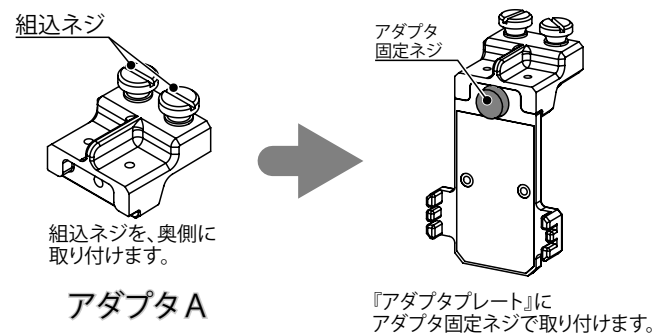
赤外線 3 波長式炎感知器 FDCJ004-D型 3 波長式炎センサ PDCJ003-D型



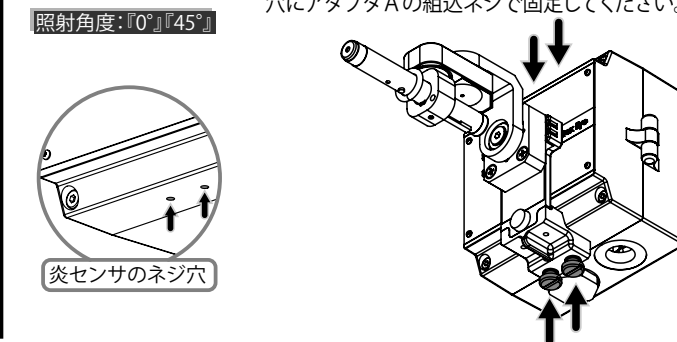
感知器／炎センサへの取付方法 感知器／炎センサの『下側面側』にあるネジ穴にアダプタAの組込ネジで固定してください。



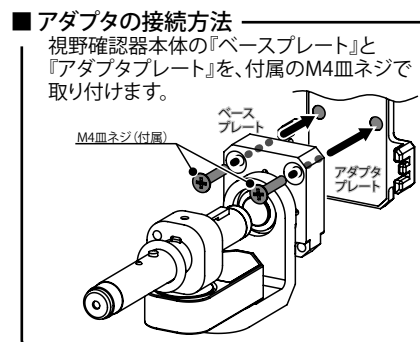
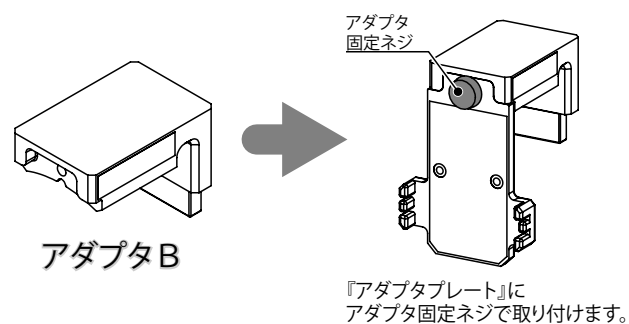
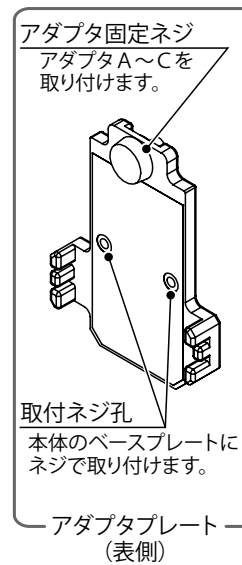
赤外線 3 波長式炎センサ PDCJ001シリーズ



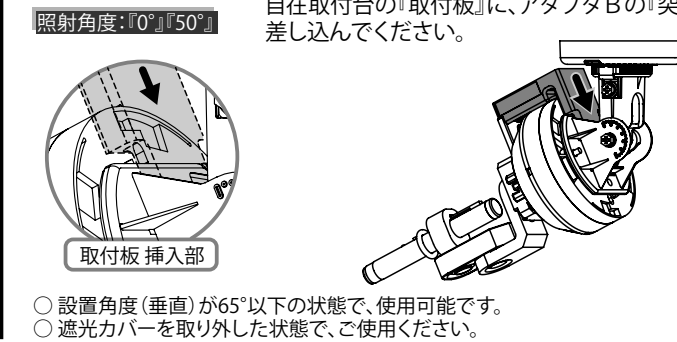
炎センサへの取付方法 炎センサの『下側面側』もしくは『上側面側』にあるネジ穴にアダプタAの組込ネジで固定してください。



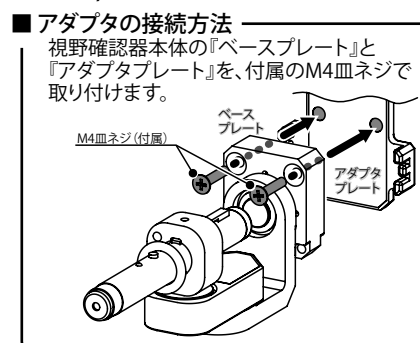
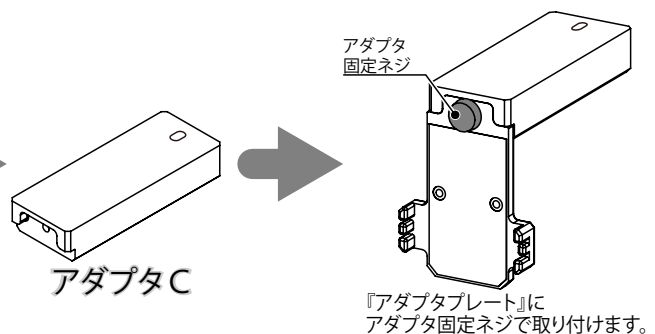
赤外線式炎感知器 FDCJ002-D型, FDCJ003-D-X型



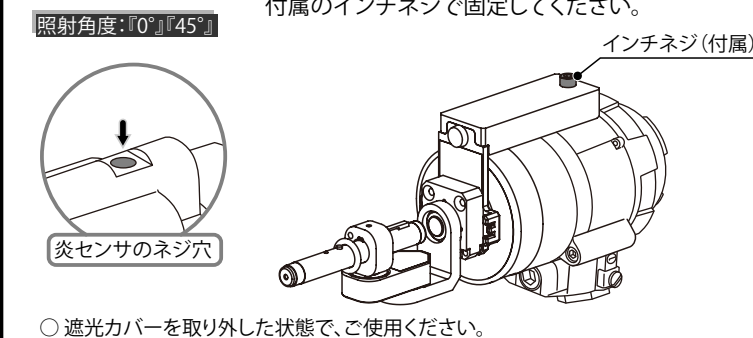
感知器への取付方法 自在取付台に感知器を付けた状態で、自在取付台の『取付板』に、アダプタBの『突起』を、差し込んでください。



赤外線 3 波長式炎センサ (防爆) PDCJ002-E型, PDCJ004-E型



炎センサへの取付方法 炎センサの『上側面側』にあるネジ穴に、付属のインチネジで固定してください。



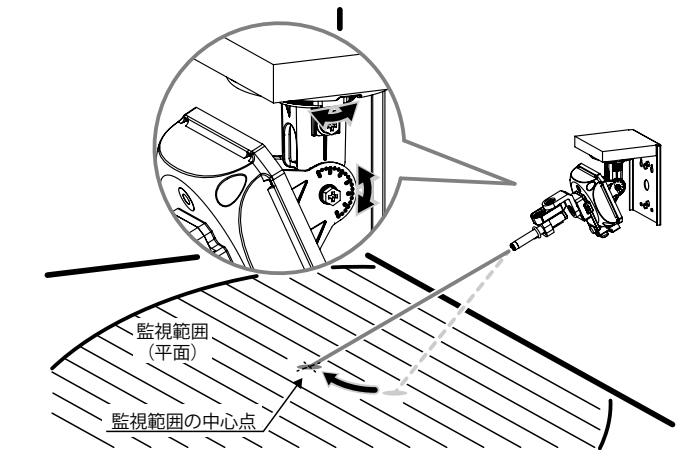
1 2. 使用方法

1 2-1. 視野確認方法 (炎感知器および炎センサ)

監視方向の確認を行う場合

本製品の照射角度を0°に合わせた状態で点灯スイッチをONにすることで、炎感知器および炎センサの現在の設置角度(水平および垂直)での監視方向をレーザーで照射します。

レーザーの『照射点』と、設備図面で指示されている『監視範囲の中心点』が合うように、自在取付台等を調整してください。



最大視野角方向の確認を行う場合

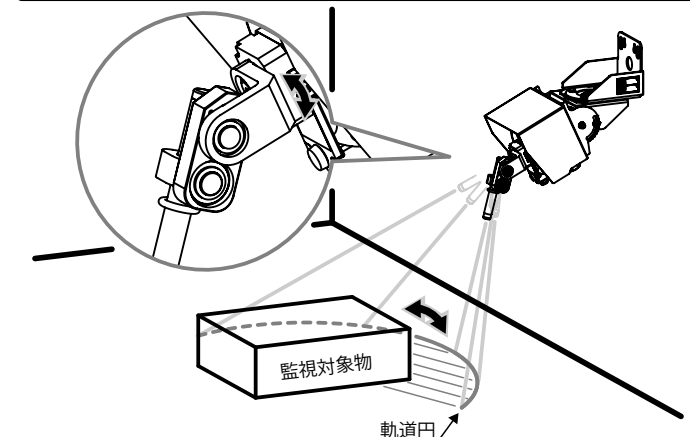
(監視対象物が炎感知器および炎センサの監視空間にはいつているか確認)

本製品の照射角度を炎感知器の場合は50°に、炎センサの場合は45°に合わせた状態で点灯スイッチをONにすることで、現在の設置角度(水平および垂直)での最大視野角方向をレーザーで照射します。

※ 炎感知器および炎センサから対象物までの距離が以下の時に有効です。

【 FDCJ002-D-X / 003-D-X : 13m 以内, FDCJ004-D : 25m 以内
PDCJ001シリーズ / 002-E / 004-E : 30m 以内 (33cm 角火皿の炎に対して)
PDCJ003-D : 9m 以内 (33cm 角火皿の炎に対して) 】

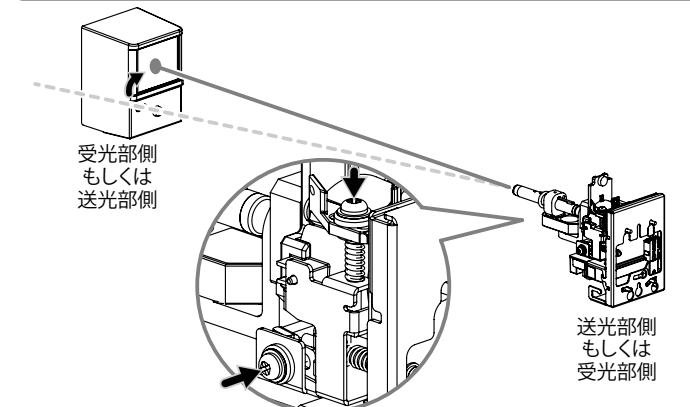
本製品の光軸方向を回転させてできるレーザーの照射点の『軌道円』の内側に、監視対象物があることを確認してください。



1 2-2. 光軸粗調整 (光電式分離型感知器)

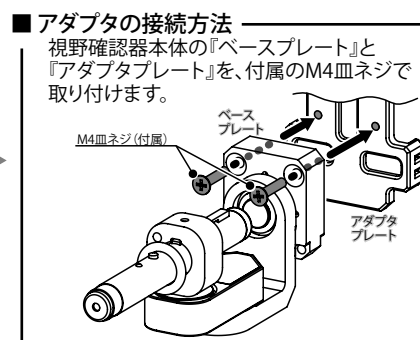
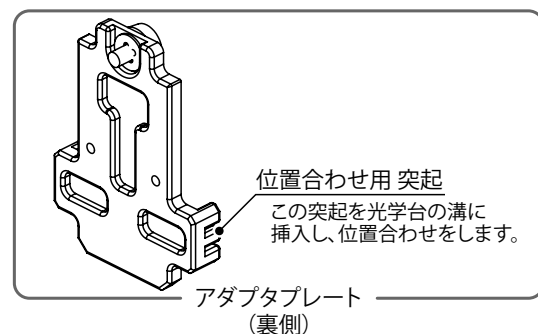
本製品の視野角を0°に合わせた状態で点灯スイッチをONにすることで、光学台の現在の光軸の向きをレーザーで照射します。

レーザーの『照射点』が、対向する受光部もしくは送光部を照射するように、光学台の軸を粗調整してください。



危険 必ず手で押さえて使用してください。
① 光学台に固定できないため、落下によりけがをする恐れがあります。

光電式分離型感知器 FDGJ002D-X/-XHT型, FDGJ103D-X/-XHT型, FDGJ203D-X/-XHT型



感知器への取付方法 感知器の光学台にある『溝』に、アダプタプレートに設けた『突起』を差し込み、手で押し付けてください。

